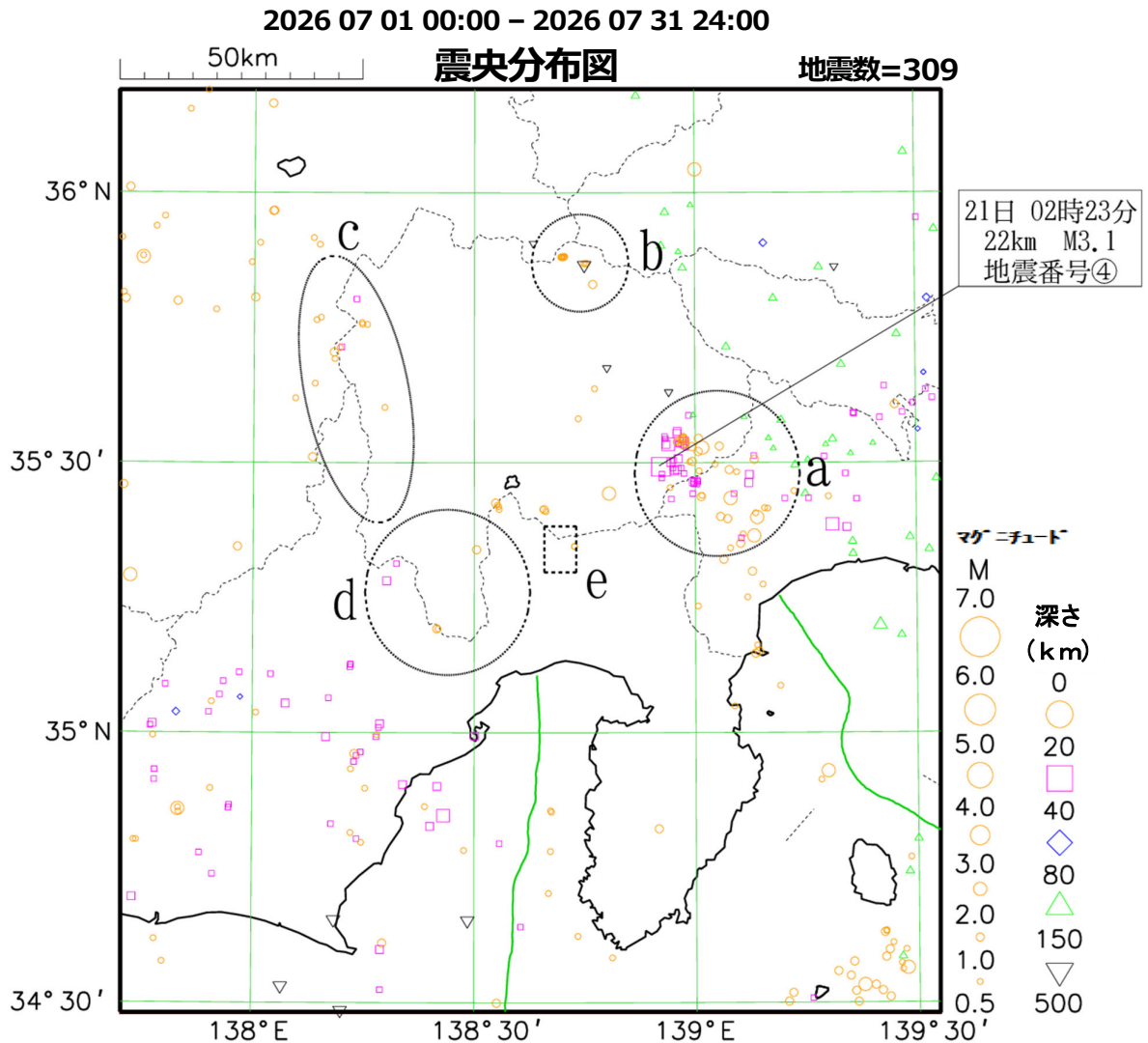


7月の山梨県とその周辺の地震活動 [令和8年(2026年)]

令和8年8月13日
甲府地方气象台

7月に震央分布図の範囲内で震源決定されたM3.0以上の地震は1回(6月10回)でした。
今期間、県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は5回(6月18回)でした。



- ・震央分布図はマグニチュード0.5以上、深さ500kmまでの地震を表示しています。
- ・図中の破線部のアルファベットは、[山梨県とその周辺を震源とする地震]に対応しています。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(平島、小宝島)、EarthScope Consortiumの観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

[山梨県とその周辺を震源とする地震]

- (a) 山梨県東部・富士五湖から神奈川県西部付近 21日02時23分 山梨県東部・富士五湖 M3.1 (地震番号④)
 (b) 甲武信ヶ岳付近 (山梨・埼玉・長野県境)
 (c) 赤石山脈北部付近 (山梨・長野・静岡県境)
 (d) 峡南地方・静岡県境付近
 (e) 静岡県東部 (富士山南西部付近)
 (b)～(e)の領域では震度1以上を観測する地震がなく、特筆すべき地震活動もありませんでした。

[山梨県内で震度1以上を観測した地震]

7月に山梨県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は5回でした。

震源時 (日時分)	震央地名	緯 度	経 度	深 さ	規 模 (M)
各 地 の 震 度					
① 2026年07月01日21時08分	岩手県沖	40° 05.7' N	142° 27.1' E	40km	M6.1
山梨県	震度 1 : 忍野村忍草*				
② 2026年07月02日20時48分	福島県会津	37° 11.7' N	139° 26.7' E	144km	M4.7
山梨県	震度 1 : 甲府市飯田, 甲府市相生*, 甲府市下曾根町*, 昭和町押越*, 南アルプス市寺部*, 笛吹市境川町藤袋*, 笛吹市役所*, 山梨北杜市長坂町*, 中央市臼井阿原*, 富士川町鯉沢*, 富士吉田市上吉田*, 富士吉田市下吉田*, 大月市大月, 大月市御太刀*, 上野原市役所*, 忍野村忍草*, 山中湖村山中*, 富士河口湖町船津, 富士河口湖町長浜*				
③ 2026年07月03日18時32分	山梨県東部・富士五湖	35° 26.5' N	138° 48.3' E	17km	M2.5
山梨県	震度 1 : 富士河口湖町船津				
④ 2026年07月21日02時23分	山梨県東部・富士五湖	35° 29.5' N	138° 55.3' E	22km	M3.1
山梨県	震度 1 : 富士吉田市上吉田*, 富士吉田市下吉田*, 大月市大月, 大月市御太刀*, 富士河口湖町船津				
⑤ 2026年07月28日16時27分	熊本県熊本地方	32° 37.5' N	130° 40.7' E	16km	M7.1
山梨県	震度 1 : 笛吹市役所*, 忍野村忍草*, 山中湖村山中*				

震度：県内震度観測点（*：地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の整備した観測点）

・地震情報で用いられる地域名称と市町村

山梨県	ちゅう せいぶ 中・西部	甲府市、甲州市、山梨市、韮崎市、笛吹市、市川三郷町、身延町、富士川町、早川町南部町、甲斐市、中央市、昭和町、南アルプス市、北杜市
	とうぶ ふじごこ 東部・富士五湖	富士吉田市、都留市、大月市、上野原市、道志村、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町、小菅村、丹波山村

※山梨県の震度観測点：<https://www.data.jma.go.jp/kofu/shosai/jishin.html#Kansoku>

[2026年7月28日16時27分に発生した熊本県熊本地方の地震]

28日16時27分 熊本県熊本地方の地震（深さ16km、M7.1）により、熊本県宇城市・氷川町で震度7を観測したほか、中部地方から九州地方にかけて震度6強～1を観測しました。山梨県では、笛吹市、忍野村、山中湖村で震度1を観測しました（図1）。

この地震は地殻内で発生し、発震機構は北北西—南南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型でした。

気象庁は、今回の地震及びそれ以降に発生した一連の地震活動について、「令和8年熊本地震」と名称を定めました。

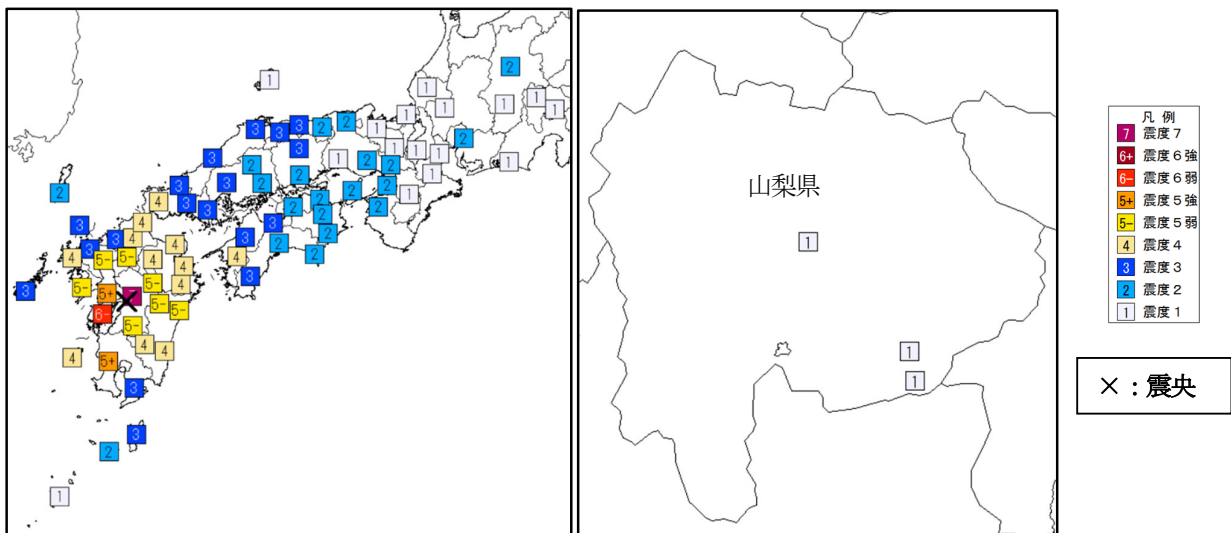
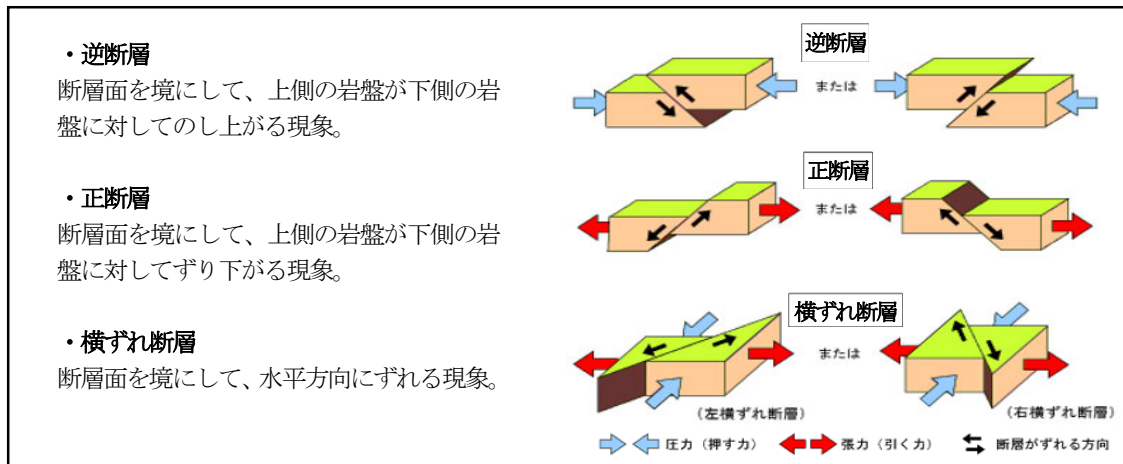


図1 震度分布図（28日16時27分 左図：地域別震度 右図：観測点別震度）

※発震機構

地震を起こした断層が地下でどのようなになっているか（断層がどちらの方向に伸びているか、傾きはどうか）とその断層がどのように動いたかを示すものです。

ある程度大きな地震で、発震機構が解析できた地震については解説に記載します。



詳しくは下記URLを参考にご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/egev/data/mech/kaisetu/mechkaisetu2.html>

【防災一口メモ】

8月26日は「火山防災の日」です。

「火山防災の日」制定

令和5年(2023年)、活動火山対策特別措置法(活火山法)の一部が改正され、国民の間に広く活動火山対策についての関心と理解を深めるため、8月26日が「火山防災の日」に制定されました。火山防災の日には、防災訓練等その趣旨にふさわしい行事が実施されるよう努めることとされています。

8月26日を「火山防災の日」とした理由

明治44年(1911年)8月26日は、群馬県・長野県の県境にある浅間山に、日本で最初の火山観測所が設置され、器械を用いた近代的な観測が始まった日です。これにちなんで8月26日が「火山防災の日」になりました。



浅間火山観測所

当時活発な噴火活動を繰り返していた浅間山に、震災予防調査会*と長野県立長野測候所(現・長野地方気象台)が共同で火山観測所を設置。

*大きな被害をもたらした1891年の濃尾地震の発生を受け、地震の予防は出来なくても被害を最小限に食い止める方法を研究することは可能であるとして、設置された政府の研究機関

「火山防災の日」をひとつのきっかけとして、噴火災害の発生に備えておきましょう。

気象庁HP「火山防災の日」特設サイト

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/filing/kazanbosai/index.html>



気象庁火山防災マスコットキャラクター

・データ等の利用及び再配布について

この資料は速報値です。後日、内容の訂正・追加を行うことがあります。

本資料中で使用している地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000(行政界・海岸線)』を使用しています。

本資料の利用は、気象庁ホームページの利用規約(下記URL)に準拠し自由にご利用いただけます。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/info/coment.html>

山梨県とその周辺の地震活動

令和8年7月号

第28巻 第7号(通巻316号)

発行日 令和8年8月13日

編集・発行 甲府地方気象台

甲府市飯田4丁目 7-29

電話 055-222-9101